

勤儉生存保険 - 保険給付内容の多様性(1)

保険の給付内容の多様性が、保険契約者の便益を高めるのかどうかということについては、近年議論のあるところである。保険自由化後の商品の多様化が、その後の不払い問題の種を蒔いたという批判がある。私見では、不払い問題の根本的原因は、保険業界が保険給付の請求主義原則の上に胡坐をかいていたことあり、自由化による商品の多様化は不払い問題を深刻化させた一要因にすぎないと考えている。しかし、この随筆の主題は、保険金の不払い問題ではない。戦前の生命保険において、商品設計がきわめて自由であったことを、保険給付の多様性から考えてみることである。

戦前の生命保険の給付の多様性は、各会社の社史を読んでもある程度知ることができるが、「保険案内」を収集することによってより明確に理解することができる。「みちくさ保険物語」では、戦前の保険給付の多様性について、「保険案内」などの史料を利用して明らかにしてゆきたいと思っている。ここで取り上げるのは、福德生命保険株式会社の販売していた「勤儉生存保険」という商品である。

福德生命は、第百生命の前身会社のひとつであるが、第百生命が破綻していることから、内部資料が残っている可能性が薄いように思われる。ただし、第百生命の社史が出版されており、そこに福德生命に関する簡単な記述がみられる。また福德生命単独の短い社史も残存している。この二つの社史から、われわれは福德生命という会社の経営の概要を知ることができるが、同社が販売していた保険商品の詳細までを知ることにはできない。この点を補完するのが、あらためて申すまでもなく、「保険案内」や「保険証券」などの史料である。

「勤儉生存保険」の商品内容を、「保険案内」の記述にもとづいて説明しよう。この保険商品は、いわゆる短満期の貯蓄保険に属する生命保険で、満期は、3年、5年、7年および10年にあらかじめ定められており、契約者はその中から選択することになっている。保険料は、月掛けで集金人が保険料を徴収するものとされた。生命保険の通史では、普通生命保険の場合、年払いが原則であり、月掛けが普及するのは戦後のことであるとされているが、実は、貯蓄性の強い生命保険の分野では、福德生命にみられるように、月掛け保険料の保険が販売されており、数は多くないかもしれないが集金人がいたのである。

ポール・ジョンソンは、*Saving and Spending* という著作（真屋尚夫訳『節約と浪費』）の中で、ヴィクトリア時代のイギリスにおいて、労働者家族の主婦が簡易生命保険（月掛け・集金人制度の保険）に加入することは、単に貯蓄だけが目的ではなく、集金人が訪問することによって、自分が勤儉で立派な主婦であることを隣人に知らしめるという隠れた目的があったことを強調した。国こそ違え、福德生命の「勤儉生存保険」においても、保険会社の集金人が月々戸別訪問することが、庶民の主婦の勤儉の証しとなった可能性がある。

福德生命が、月掛け保険料徴収のための集金人を採用したことは、単に利便性の向上と

ということではなく、ポール・ジョンソンが強調するような、庶民の主婦のプライドをくすぐる効果を期待してのことだったかもしれない。戦前の教科書では、婦人のあるべき姿として「山内一豊の妻」の逸話が掲載され、学校教育に用いられていた。これは、嫁入りの持参金、あるいは、貧しいながらも貯めたへそくりで、夫の出世に必要な時に名馬（鏡栗毛）を買い与えたという、「内助の功」の賢婦の話である。戦前の主婦の中に「山内一豊の妻」に対する一種の憧れが存在していたのではなかろうか。

「勤儉生存保険」の商品内容に話を戻そう。この保険は、10歳から65歳までであれば無審査で加入することができ、保険料は年齢別に画一に設定されていた。したがって、加入者は、満期金額と保険期間を決めれば、年齢ごとに月掛け保険料が決まる仕組みになっているので、大変わかりやすい。給付内容は、生存の場合に満期保険金が支給される他、保険期間内に10種伝染病か不慮の事故により死亡した場合にのみ死亡保険金が支払われ、それ以外の死亡の場合は既払保険料が返還されることになっている。

「10種伝染病」とは、コレラ、流行性脳脊髄膜炎、赤痢（疫痢を含む）、ジフテリア、痘瘡、腸チフス、発疹チフス、ペスト、パラチフス、および猩紅熱のことである。また「不慮の事故による死亡」とは、雷死、焼死、溺死、轢死、殺害、火傷、湯傷、腐食傷、銃創、刀傷、墜落、轢傷、機械傷、打撲、圧迫窒息、獣害、電気撃、炭坑内、採掘場における傷害による死亡である。したがって通常の死亡では、保険金の支払いがないため、死亡保障の効果を極力削減して、貯蓄保険としての特徴を強めた商品であると考えることができる。

勤儉生存保険を死亡保障の保険と勘違いして契約した人がいるとすれば、給付内容からそのニーズをほとんど満たさないことを知って驚くかもしれない。「保険案内」で見ると、この保険商品が、死亡保障性保険ではなく、生存保険の特徴を強化したものであるという説明はなく、死亡保障性保険との誤認の可能性を否定できない。「保険案内」には、次のように書かれている。

「福德生命とは、我国財界の五大霸王の一として雄飛する東京川崎家の直営する株式組織の保険会社でありまして、勤儉報国、共存共栄の一貫したる念願のもとに堅実なる経営方針をとって居ります。時代の趨勢に適合したる最も合理化された進歩的な独特の保険を皆様にお勧めすることのできるのは、まったく此の一貫した方針の賜であります。」この文章における「最も合理化された進歩的な独特の保険」という記述が、「勤儉生存保険」の特徴を説明しているものとは思われない。

契約者保護が重視される現代では、掲載した「保険案内」自体が不適格な文書だという烙印を押されるかもしれない。そのことは別にしても、「10種伝染病」と「不慮の事故による死亡」以外の死亡は保障されないという限定的な給付条件を、もっと明確に契約者に伝えるようにしなければ、現代では通用しないだろう。戦前の給付の多様性は、消費者の選択の幅を広げることによる利便性よりも、不適正な販売状況を生み出していた可能性がある。

内案險保儉勤



營 經 崎 川
社 會 式 株 險 保 命 生 德 福

新時代の勤儉生存保険

近年一般の保険思想著しく昂まり、生命保険の合理化を要望するの聲頻りであります。「勤儉生存保険」はこの新時代の要望に適するやう最も合理化されたものでありまして、弊社に依つて新しく提供され、弊社のみが営む日本唯一の獨特なる保険で、左記の特長を備へて居ります。

貯蓄を兼ねた保険

この保険は貯蓄と保険の長所を巧みに組合せたもので萬一の場合には御一家の保護となり、満期の節は纏つたお金が出来て老後の御用意や、事業資金、御子様方の教育資金として直ぐ役立ちます。

期間の短い保険

従来一般に行はるゝ保険は何れも保険料の拂込が長期に亘るため契約者は中途に於て種々の蹉跌を生じ當初の目的と全く反した結果を來す事が屢々あり得るのがありますが、この保険はかかる蹉踏を無からしむる爲に三年、五年、七年、十年の如く短期となつて居ります。

保険料の月掛 (毎月集金にお伺ひ致します)

この保険の掛金は毎月御掛込み下されば宜しいのですから御負擔も軽くなり知らず識らずの内に纏つたお金が出来ると云ふ誠に妙味ある仕組になつて居ります。

勤儉生存保険種類	満期拂渡高			
	三年満期	五年満期	七年満期	十年満期
満期拂渡高	毎月掛込高	毎月掛込高	毎月掛込高	毎月掛込高
五百圓	一三五〇	七九〇	五五〇	三七五〇
一千圓	二七〇〇	一五八〇	一一〇〇	七五〇〇
二千圓	五四〇〇	三一六〇	二二〇〇	一五〇〇〇
三千圓	八一〇〇	四七四〇	三三〇〇	二二五〇〇
五千圓	一三五〇〇	七九〇〇	五五〇〇	三七五〇〇
一萬圓	二七〇〇〇	一五八〇〇	一一〇〇〇	七五〇〇〇
二萬圓	五四〇〇〇	三一六〇〇	二二〇〇〇	一五〇〇〇〇

保険料の均一

保険料は右表の如く低廉で十歳以上六十五歳迄の方はどなたでも無診査で御加入が出来、各年齢共均一となつて居ります。

保険金の支拂は

満期の時は勿論御加入後何時左の原因にて死亡せられても直ちに保険金を御支拂致します。

- 十種傳染病
「コレラ、流行性腦脊髄膜炎、赤痢(疫痢を含む)、チフテリア、痘瘡、腸チブス、發疹チブス、ペスト、パラチブス、猩紅熱」
- 不慮の災害
「雷死、溺死、燒死、殺害、銃害、火傷、刀傷、湯傷、腐蝕傷、銃創、刃傷、墜落、轢傷、機械傷、打撲、壓迫窒息、獸害、電氣擊、鏢抗内、採石場内二於ケル傷害」

貸金

御加入者には保險證券擔保の御貸付を致します。

福德生命とは

我國財界の五大霸王の一として雄飛する東京川崎家の直營する株式組織の保險自社でありまして、勤儉報國、共存共榮の一貫したる念願のもとに堅實なる經營方針をとつて居ります。時代の趨勢に適したる最も合理化された進歩的な獨特の保險を皆様に御勧めすることの出来るのは全く此の一貫したる方針の賜であります。